



進級 おめでとうございます!

いよいよ新年度が始まります。体調に気をつけつつ、よい学校生活をスタートさせましょう!

学校教育目標 「他者にかかれた行動力—みずから学び、みずから考える—」

〈2023年度 テーマ〉

Weave Hope into the Future

未来の世界に希望を織り込もう

2023年度 教職員 1年間よろしくお願いいたします!

校長……齊藤隆浩 教頭……柳澤伸寿 副教頭……市川暁子 事務長……鶴飼克彦
 参与……阿部益太郎 チャプレン・参与……Sr. 田口保子

【中学担任会】

中3……(1組)松原今日子 (副)北川孝博 苫米地里香
 (ガイダンス)Alexander Williams Jonathan Mott
 中学所属……丸子沙織 山際令 柴田伸夫

【高校担任会】

高2……(1組)渡辺亜希子 (副)倉秀彦 相馬晴美
 高3……(G)漆崎琴 (G副)大野朗 (S)望月美佐 (S副)森川哲太郎
 高校所属……畑尻麻紀 佐藤拓也 奈良茜 鈴木恭子

教務主任……畑尻麻紀 生徒指導主任……北川孝博
 高校主任……漆崎琴 中学主任……松原今日子 寄宿主任……黒澤晶子
 事務主任……小川美奈子 技術職員……庄司浩行
 養護……山際令 図書館司書……新田裕子 情報システム担当…後藤優司
 修道院……Sr. 新庄美重子 Sr. 竹内二三子 Sr. 林千鶴 Sr. 田口保子

4月の予定

	行事	弁当		行事	弁当	
1	土		16	日		
2	日		17	月	委員任命式	
3	月		18	火	第1回委員会	
4	火		19	水	尿検査① 始業ミサ(13:30~15:00)	
5	水		20	木		
6	木	寄宿生帰舎	21	金		
7	金	始業式(9:00~) 中学学力推移調査・高校スタディーサポート	要	22	土	サタデープログラム① 英検2級対策講座①
8	土		23	日		
9	日		24	月		
10	月	通常授業開始	要	25	火	全校朝礼
11	火		要	26	水	健康診断(5, 6限)
12	水	職員会議(15:40~)	要	27	木	全校講話①(7限)
13	木	LHR(委員決め) 寄宿新年度お楽しみ会	要	28	金	寄宿生帰舎日(授業3限まで) 母の会総会(13:00~)
14	金		要	29	土	学校閉鎖期間 ~5月7日(日)
15	土			30	日	

※ 必要な方は昼食をご用意ください。

行事予定は暫定のもので、大きな変更がある場合には一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。



2023年度入試 合格実績

3月31日現在確認できているもの



	大学名	学部	学科・コース	人数
姉妹校	聖心女子大学	現代教養	※学部一括募集	11
	川崎医科大学	医	医	(1)
	上智大学	総合人間科	社会福祉	1
		法	国際関係法	1
		文	新聞	1
			国文	1
		神	神	1
	東京理科大学	先進工	生命システム工	1
	中央大学	文	人文社会	1
		経済	国際経済	1
	芝浦工業大学	システム理工	生命科	1
	順天堂大学	医療看護	看護	1
	東京女子大学	現代教養	国際英語	2
	国際医療福祉大学	保健医療	看護	1
	千葉工業大学	創造工	都市環境工	1
	東京歯科大学	歯	歯	(1)
	日本大学	歯	歯	(1)
	日本歯科大学	生命歯	生命歯	1
	桜美林大学	航空・マネジメント	空港マネジメント	1
	国土館大学	理工	理工	1
	明星大学	建築	建築	1
	関西学院大学	社会	社会福祉	1
		国際	国際	1
	足利大学	看護	看護	1
	城西国際大学	看護	看護	1
	藤田医科大学	医学科	医療検査	(1)
	神奈川歯科大学	歯	歯	1
	横浜薬科大学	薬	漢方薬	1
	神戸女学院大学	人間科	環境・バリエーション	1
道内私大	北海道科学大学	未来デザイン	メディアデザイン	1
	北海道医療大学	歯	歯	(1)
		薬	薬	(1)
	藤女子大学	人間生活	人間生活	1

※2022年度第3学年在籍34名 カッコ()の人数は既卒生

今月のこころのこたば

「恐れるな、わたしはあなたと共にいる」(イザヤ書41章10節)



高校から他校に進学しなければならない中学2,3年生希望者対象の10日間の「アメリカ姉妹校ルーツの旅」(詳細はHP照)では、聖フィリピン・デュシェーンがその最後の日々を過ごしたセント・チャールスの聖心に泊まりました。参加した12名は、朝晩祈りをともにし、振り返りを分かち合い、自分への聖女のメッセージを受け取るために、シスターコリンズから聖女のお言葉の説明を受けました。20数年前この場所で、聖女から「苦しみを恐れないように」というメッセージをいただいた私は、12名のそれぞれがメッセージを受けられるようにと祈っていました。

聖女は、多くの苦しみや挫折を体験し、英語もあまり話せず、念願の先住民族との生活も健康上の理由で続かず、世間的な意味では「自分は失敗者だ」と述べられたそうです。しかし、決して絶望せずに、神の愛を伝えるために燃える想いを生かぬかれたのはなぜでしょうか。最期を迎えた粗末なベッドと机しかない小さな部屋の前で、聖女に尋ねました。

その答えは、この聖句にありました。常にともにいて、ずっと目を注ぎ、一人ひとりを受け入れ、支えてくださる神を、聖女は知っていたのです。愛されるためには、完ぺきである必要はありません。ありのままの自分を受け入れ、忠実に愛を注ぐ神の存在を知る時、私たちの現実はいかたかく変わり、様々な苦しみや挫折、自分の不完全さも失敗も、恐れることはないと知ります。希望が織り込まれます。

全校生一人ひとりが、ありのままに受け入れられ、愛されていることを知る希望の学びが実りますようにと祈りながら、新学年度を迎えます。

[チャブレン Sr. 田口保子]